

第191回 防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和6年12月18日(水) 10時00分～11時30分

2 場所

防衛省庁舎D棟3階第1庁議室

3 出席者

(委員)

田内会長 柴山会長代理 石田委員 片岡委員 清水委員 西谷委員 林委員

(防衛省)

防衛装備庁 西脇長官官房審議官、坂本装備政策部長、調達管理部長代理調達企画課長、鈴木調達事業部長、伊輪監察監査・評価官(事務局)

今井統幕首席後方補給官、陸幕装備計画部長代理装備計画部装備計画課補給管理班長、海幕装備計画部長代理装備需品課補給管理室長、空幕装備計画部長代理装備計画部整備・補給課輸送補給室計画班長

4 議題

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議(令和5年度 陸上自衛隊北海道補給処)
- (2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議(令和5年度 陸上自衛隊)
- (3) 次回の日程等

5 議事概要

- (1) 随意契約に係るサンプリング調査審議(令和5年度 陸上自衛隊北海道補給処)

令和5年度に陸上自衛隊北海道補給処が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「変速操向機Assy99式弾薬給弾車用“オーバーホール”ほか3件」について審議を行った。

(変速操向機Assy99式弾薬給弾車用“オーバーホール”ほか3件の概要)

本件は、99式弾薬給弾車及び変速操向機Assy99式弾薬給弾車用の欠陥箇所又は欠陥の生ずるおそれのある箇所を分解して修理を行い使用可

能状態に回復させることを目的とする定期修理の役務請負契約である。

【事前調査における論点等】

- ① 部分払い特約条項を付した経緯及び理由について詳細に説明されたい。また、契約相手方が実際負担しているコスト変動リスクの期間及び金額と利子に係る計算、コスト変動調整率との整合性についても具体的に説明されたい。
- ② 品代に利子・利益が含まれていないが、その理由及び根拠について詳細に説明されたい。
- ③ 標準内作業、標準外作業を定める基準及び標準外作業の必要性の判断基準について具体的に説明されたい。特に平成20年の施行整備の成果に基づいてオーバーホールを実施しているとのことだが、その後の実績を踏まえ、どのような取組を実施しているのかについて説明されたい。
また、標準外作業において実績にはなかった高額な不具合が発見された場合、どのような対応するのかについても合わせて説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

(変速操向機A s s y 9 9式弾薬給弾車用“オーバーホール”ほか3件)

事前調査の論点①、②及び③について

委：現行制度の基準においては、コスト変動調整率は年度単位で適用率を掛けることになっているが、限られた予算を効果的に使うという観点で見ると、部分払いをする場合は、該当箇所についてももう少し短い期間の単位基準を設けた方が適切ではないかと考える。今後、検討されたい。

防：今後、適切なリードタイムや事業単位を検討した上で、運用していくべきであると考える。

委：昨今の物価高、担い手不足の状況の中、持続可能な供給体制を確保するためには、適切なコストが全てのベンダーまで行き届くことが非常に重要であると考え。今後、調達現場において、そのようなコスト高がコスト変動調整率の範囲で収まるのか実績を調査されたい。

防：承知した。

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和5年度 陸上自衛隊）

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ①（早期装備化実証推進事業）多用途UAV（固定翼）概念実証業務委託

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ② 師団等指揮システムの維持・整備支援ほか1件

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】

- ③ 陸上自衛隊補給統制本部

【事前調査における論点等】

- ①（早期装備化実証推進事業）多用途UAV（固定翼）概念実証業務委託

- ・本件の要件として、海外企業との技術援助契約等としているが、入札参加の可能性があるかと予測した会社名とその理由及びそれらの会社が入札参加できるために官として取ったアプローチについて具体的に説明されたい。また、この点を踏まえて公告期間が適切であったのかについて、その理由、経緯についても合わせて説明されたい。
- ・本件は、当該事業全体のどのフェーズに該当するのか説明されたい。また、今後の計画において他社が参加できるよう本件で得た知的財産を官が所有し、次回以降の契約等においてその情報を公開するなどの改善等を実施するのか詳細に説明されたい。

- ② 師団等指揮システムの維持・整備支援ほか1件

- ・本件の事業内容（調達開始時期、落札者、契約金額の推移）について具体的に示されたい。
- ・令和5年から落札者が変わった理由及び経緯及びシステム製造会社との資本、人的取引関係について過去の契約における関係を踏まえて具体的に説明されたい。
- ・契約相手方は4社合弁企業となっているが、その背景や当該社の設立によって、他の調達案件も含めどのような影響があったのか具体的に説明されたい。また、4社間の情報管理について合わせて説明されたい。

- ③ 複写機（静電式）の借上げ

- ・本件の契約期間を年度毎にずらして調達数量を分割せず、一括で4年契約とした理由及びその合理性について説明されたい。
- ・陸上自衛隊の複合機の台数及び枚数の実績推移について示されたい。また、各自衛隊毎のコストの比較についても合わせて示されたい。

- ・複合機を契約するにあたり、競争性を高めるため、または官側の経費削減のために仕様書においてどのような工夫をしているのか説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

- ① (早期装備化実証推進事業) 多用途UAV (固定翼) 概念実証業務委託
委：当該案件に関わらず全体の議論として、1者しか入札参加しない場合について、価格の適切性を確保するためには、随意契約へ移行することも含め現行制度の検討が必要であると考えます。
防：公共調達に適正化に基づき、手続きを粛々と進めていくが、調達現場において気づいた問題点等を今後、制度等に反映するよう提案していきたい。
- ② 師団等指揮システムの維持・整備支援ほか1件
委：今回の契約相手方のような合弁会社は、今後も1者応募になる可能性が高いと考えるが、どのように対応していくのか。
防：公共調達の適正化に基づき、手続きを粛々と進めていくが、調達現場において気づいた問題点等を今後、制度等に反映するよう提案していきたい。
- ③ 複写機 (静電式) の借上げ
委：総合的に見ると枚数は減少しているように見えるが、各機関ばらつきがあるため、今後は陸・海・空の一括契約等を含め検討されたい。
防：承知した。

(3) 次回の日程等

次回は1月16日(木)の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。